

土木研究所と政策研究大学院大学が
「国際シンポジウム
—増え続ける水災害を生きる世界の人々とともに—」を開催

平成 26 年 9 月 30 日、土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）は政策研究大学院大学（GRIPS）と共催で「国際シンポジウム—増え続ける水災害を生きる世界の人々とともに—」を GRIPS において開催しました。

シンポジウムでは竹内邦良 ICHARM センター長及び小池俊雄東京大学教授の基調講演に続き、ケイト・ホワイト米国陸軍工兵隊上級リーダー、エストゥディオ・ジョナ GRIPS 教授及びシャバス・カーン UNESCO ジャカルタ副代表からの報告、さらに山田正中央大学教授、寶馨京都大学教授、沖大幹東京大学教授及び国土交通省水管理・国土保全局河川計画課長（代理：天野雄介国際室長）にも加わっていたいたパネルディスカッションを行いました。

国内外から約 190 名の参加があり、水災害の現状、ICHARM の活動の課題など、活発な議論が行われました。詳細な報告は、追って ICHARM ホームページ等で公開する予定です。



パネルディスカッションの様子